

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2018. 9. 10

下水道機構の『新技術情報』 第346号

(公財) 日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

台風21号による近畿地方の災害、地震による北海道の災害。先週は立て続けに災害が発生しました。お亡くなりになられた方のご冥福と被災された皆様へお見舞い申し上げます。秋雨前線の動きも気になります。二次災害にもどうぞお気を付けてください。

本日9/10は下水道の日です。なぜ9/10なのか調べてみました。9/10は立春から数えて220日目に当たり、昔は二百二十日(にひゃくはつか)と呼ばれ、大きな台風がくるとされていて大雨に備えていたのだそうです。下水道の大きな役割の一つである「雨水の排除」を念頭に二百二十日である9/10に決められたそうです。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第346号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・第68回下水道新技術セミナーを、8/23に東京会場(発明会館)、8/30に大阪会場(大阪科学技術センター)にて開催しました
- ・「2018IWA世界会議・展示会(東京開催)」へブースを出展します！

■機構の動き

- ・今週は、9/13(木)に技術サロンを開催します
- ※定員に達したため、募集は締め切りました

■Tea Break

- ・IWA World Water Congress & Exhibition 2018での口頭発表
(研究第一部 K.S さんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる

- ・日本水道新聞社による「2018IWA世界会議・展示会(東京開催)」のデイリー情報についてお知らせです！

■国からの情報

- ・9/7付下水道ホットインフォメーション

インフォメーション（最新の話題です）

。○○。

●第 68 回下水道新技術セミナーを、8/23 に東京会場（発明会館）、8/30 に大阪会場（大阪科学技術センター）にて開催しました

公衆衛生の向上、公共水域の保全など、環境問題の解決に向け急速に下水道整備が進み、現在では下水道管きょや処理場・ポンプ場の施設・設備等膨大なストックが存在しています。今後、これらのストックの老朽化の進行により改築更新費の増大が見込まれています。

当セミナーでは、下水道ストックの適切なマネジメントの参考としていただくため、「ストックマネジメントの推進に向けて」をテーマに、国の方針、自治体における取組事例、先進技術等について専門家や当該業務に携わる自治体等の方を講師にお迎えしてご講演いただきました。国土交通省下水道部から、特別講演として、下水道事業課事業マネジメント推進室の栗原課長補佐（東京会場）と小松資産管理係長（大阪会場）による「ストックマネジメントの実践に向けて」、国土交通省 国土技術政策総合研究所から岩崎下水道研究室長による「管路の総合的マネジメント技術」のご講演をいただきました。

さらに先行都市である自治体等からの取組み事例では、福島県より「福島県におけるストックマネジメント計画策定支援の取組みについて」と題して福島県土木部下水道課の吉野課長（大阪会場）と住谷主任主査（東京会場）より、鶴岡市上下水道部からは「地域の実情に応じたストックマネジメント」と題して上下水道部の有地下水道課長より、それぞれ取組みの好事例についての紹介のご講演を頂きました。また当機構研究第一部から関連する研究成果等について紹介をいたしました。

両会場合わせて 160 名と多くの方々にご参加いただき盛況のうちに終えることが出来ました。誠にありがとうございました。

次回下水道新技術セミナーは、11 月に下水道事業における官民連携に関するテーマにて開催を予定しています。皆様のご参加を心よりお待ちしております！

●「2018IWA 世界会議・展示会（東京開催）」へブースを出展します！

9/16（日）～21（金）までの 6 日間、東京ビッグサイトにて「2018IWA 世界会議・展示会」が開催されます。本機構は、他の日本からの参加団体とともにジャパンパビリオンにブースを出展し、パネル、リーフレット等にて下水道機構の取組みや研究の成果について国内外に向け発信します。また、世界会議においても、口頭及びポスターの両セッションにおいて研究成果を発表します。多数の方のご来場を、心よりお待ちしております。

【展示会】

日時：9 月 17 日（月・祝）～20 日（木） 9：00～18：00

場所：東京ビッグサイト 西展示場 ジャパンパビリオン内 281-A

【世界会議】

・「管路施設点検・調査計画策定及びリスク評価に関する調査研究」（ポスター+プレゼン）

研究第二部 嶋田 耕二

・「効率的な下水道管路調査に関する検討」(ポスター+プレゼン)

研究第二部 佐々木 基喜

日時：9月19日(水) 12:00~13:15 (プレゼン)

場所：会議棟 ROOM701

・「津波シミュレーションを活用した下水道施設の津波対策に関する研究」(口頭)

研究第一部 鈴木 一弘

日時：9月20日(木) 13:30~15:00

場所：会議棟 ROOM703

・「高度処理施設における土木構造物の劣化に関する共同研究」(ポスター展示のみ)

研究第一部 立木 康和

・「事例ベースモデリング調査の利活用に関する研究」(ポスター展示のみ)

研究第二部 篠崎 淳

。○○。

機構の動き (機構の行事予定です)

。○○。

○行事：第373回技術サロン

日時：平成30年9月13日(木) 16:00~17:00

場所：機構8階 中会議室

講演者：(公財)日本下水道新技術機構 下水道新技術研究所長 加藤裕之

テーマ：「フランスにおける下水道財政制度・官民連携等についての調査報告」

※定員に達したため、募集は締め切りました。

。○○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○○。

●IWA World Water Congress & Exhibition 2018での口頭発表

(研究第一部 K.S さんからの投稿です)

下水道機構に出向している職員は任期中に国際学会での発表をさせていただく機会をいただけるため、これまで多くの職員は国際学会での発表を行っています。その中で、私は平成30年9月16日から21日に開催されるIWA World Water Congress & Exhibition 2018において、口頭発表をさせていただけることとなりました。これまで出向元の会社に在籍中において、国際学会での発表や海外出張などの機会が無かったため、英語に触れることから遠ざかっており不安も大きいですが、せっかくいただいた機会ですので、自らの英語のスキルアップのためにも、発表に向けて必死に練習に取り組んでいるところです。ただ、今回の開催場所が東京ということで、海外ではないため、少し残念ですが・・・。

。○。

まる子のゆいまーる (皆様との交流の場です)

。○。

●日本水道新聞社による「2018IWA 世界会議・展示会（東京開催）」のデイリー情報についてお知らせです！

9/16（日）～21（金）までの6日間、東京ビッグサイトにて「2018IWA 世界会議・展示会」が開催されます。日本水道新聞社では、期間中において、世界会議や展示会の様子を毎日下記のホームページにアップし、最新情報を提供していくそうです。

「2018IWA 世界会議・展示会（東京開催）」へ参加を予定している方も、残念ながら参加できない方も、アクセスして情報を入手してみたいはいかがでしょうか。

アドレス：http://www.suido-gesuido.co.jp/iwa_special/index.html

!(^^)!皆さまからの情報提供をお待ちしております(^^♪

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2018.9.7 国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課企画専門官 堂蘭洋昭

=====

今週は、台風 21 号による近畿地方をはじめ各地での被害、また北海道をおそった地震被害等、大きな災害がおこりました。被災された方に心よりお見舞い申し上げます。慌ただしい毎日が続きました。早く落ち着くことを祈りたいと思います。

9/10（月）は下水道の日。今年も各地で様々なイベント等が行われる予定です。

国交省でも国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」の表彰式が予定されています。

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

- 平成 30 年度（第 11 回）国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」の受賞事例を決定しました！（下水道企画課）
- IWA 世界会議・展示会が開催（下水道企画課）
- 岡山県マンホール総選挙について（岡山市）
- 岡山市下水道マンホールスタンプラリー（岡山市）
- 「現代農業」10 月号で佐賀市の下水道由来肥料の記事が登場（佐賀市）

=====
○平成 30 年度（第 11 回）国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」の受賞事例を決定しました！（下水道企画課）

国土交通省では、健全な水循環、資源・エネルギー循環を創出する「循環のみち下水道」に基づく優れた取組を、国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」として表彰しています。

今年度は、岐阜県恵那市の「誰もが利用できるマンホールトイレに向けて」をグランプリに決定するほか、部門賞 9 件を決定しました。受賞団体は以下のとおりです。

【グランプリ】

- ・恵那市 「誰もが利用できるマンホールトイレに向けて」

【イノベーション部門】

- ・大阪市 「国内初！アナモックス反応を利用した脱水分離液窒素除去施設」
- ・倉敷市 「『くらげのゆ』国内初！管路外設置で下水熱利用」

【レジリエント部門】

- ・東京都 「下水道事業におけるデマンドレスポンスの取組」
- ・高槻市 「水害・土砂災害ハザードマップを活用した防災マイマップ作り」
- ・岡山市 「三位一体！広がる浸水対策の輪」

【アセットマネジメント部門】

- ・山元町、横浜市、横浜ウォーター株式会社 「公公連携による持続的な上下水道事業一体運営」
- ・管清工業株式会社 「スクリーニング技術の開発による管路の迅速な点検」

【広報・教育部門】

- ・北海道芦別市、星槎国際高等学校本部校 「行政と高校がコラボした下水道 PR」
- ・大阪府立泉陽高等学校食物部 「高校生と堺市上下水道局とのコラボレーションによる下水道学習」

各受賞団体の取組内容については以下のリンク先をご参照下さい。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000578.html

なお、受賞団体の表彰式を平成30年9月10日（月）に国土交通省にて開催します。各地の下水道事業の更なる発展に向け、受賞事例をご参考にさせていただきますようお願いいたします。

また、来年度も積極的にご応募いただけますようお願いいたします。

○IWA世界会議・展示会が開催（下水道企画課）

国際水協会（IWA）世界会議・展示会が、9月16日、東京で開催します。

IWA世界会議・展示会は、世界各国から水関連の政府関係者や研究者、地方公共団体、民間企業らが参加し、上下水道や水環境に関する新たな知見、最先端の技術を共有する国際会議です。期間中は約350編の論文発表、約90件のワークショップ等が展開されるほか、約200団体が参加する展示会も催されます。初の日本開催となり、開催地東京都では期間中に6000名（海外100カ国2000名、国内4000名）の参加を予定しています。

開催準備を行っている開催国委員会のウェブサイト

<http://www.iwa-jnc.jp/index.html>

また日本水道新聞社では、IWA世界会議の開催期間中、Webから、誰でも、無料で閲覧できるデイリー版を発行します。デイリー版は、9月17～21日の正午に前日の模様を配信し、開会式や基調講演など各種イベントの概要、日本人関係者の活動などを中心にIWA世界会議の「今」を発信します。

詳細は、日本水道新聞社IWA世界会議特設サイトまで。

http://www.suido-gesuido.co.jp/iwa_special/index.html

IWA世界会議・展示会

主催：国際水協会（International Water Association）

国内準備：開催国委員会（会長＝東京都知事、委員＝東京都水道局長、東京都下水道局長、（公社）日本水道協会理事長、（公社）日本下水道協会理事長、（公社）日本水環境学会会長、関係省庁、学术界、産業界等）

開催期間：平成30年9月16日（日曜日）～21日（金曜日）

開催場所：東京ビッグサイト（東京都江東区有明三丁目11-1）

○岡山県マンホール総選挙について（岡山市）

岡山県マンホール総選挙を実施します。

岡山県内17市町村のマンホールを掲載し、読者にお気に入りのマンホールを投票して頂く企画です。市町村の特色を刻んだ様々なデザインのマンホールを通して、下水道に興味を持って頂きたいと考えています。

【詳細】

- ・ 投票方法／ハガキ、ファクス、Eメールに、住所（〒）・氏名・年齢・電話番号・好きな蓋1位から3位までと、一言コメントを書いて応募
- ・ 宛て先／〒700-8613（住所不要）岡山リビング新聞社
FAX086（235）1655 「マンホール総選挙」係
Email = manhole@okayamaliving.co.jp
- ・ 投票締め切り／9月21日（金）消印有効
- ・ ホームページ：<http://okayamaliving.co.jp>

○岡山市下水道マンホールスタンプラリー（岡山市）

岡山市の観光地8か所に地域ごとのデザインマンホールスタンプを設置し集めて頂く企画です。観光地を巡りながら、それぞれの地域の特徴を持ったマンホールについても興味を持って頂きたいです。

【詳細】

- ・ 実施期間平成30年9月10日（月）～平成31年2月28日（木）
- ・ 応募方法応募用紙にスタンプを4個以上押印の上、82円分の切手を貼って事務局に郵送
- ・ 応募締切 平成30年11月30日（金）必着[第1回]
平成31年 2月28日（木）必着[第2回]
- ・ 問い合わせ Email：eigyoun@city.okayama.lg.jp

それぞれの詳細につきましてはPDFファイルを添付させていただきます。
大変お忙しいとは思いますが、宜しくお願いします。

○「現代農業」10月号で佐賀市の下水道由来肥料の記事が登場（佐賀市）

農山漁村文化協会が発行する専門誌「現代農業」10月号の特集【使えるぞ！汚泥肥料】の中で、前田純二（佐賀市上下水道局環境政策調整監）の記事「7つの課題を克服した汚泥肥料」を全6ページ（pp.196～201）で紹介していただいています。

佐賀市の下水道由来肥料の利用促進を図る上で出てきた課題や克服策等について紹介していますので、ぜひご覧ください。

「現代農業」10月号についてはこちらをご参照ください↓

http://www.ruralnet.or.jp/gn/201810/201810_f.htm

【参考情報】

◆デジタルソリューションで目指す変革

日立製作所・千葉直利水ビジネスユニット事業開発推進本部長に聞く＜Webジャーナ

ル MizuDesign>

<https://mizudesignjournal.com/infra/1355.html>

◆世界一のクラゲ水族館から学ぶ水のこと、暮らしのこと

加茂水族館・奥泉和也館長に聞く<Web ジャーナル MizuDesign>

<https://mizudesignjournal.com/interview/1360.html>

◆市街地浸水 10 分で予測 国交省研究所がシステム開発 ゲリラ豪雨対策など想定

<9/1 産経ニュース>

<https://www.sankei.com/west/news/180930/wst1809300001-n1.html>

◆「まる子」マンホール 6、7 日設置 故さくらさんが寄贈 静岡 <9/1 静岡新聞>

<http://www.at-s.com/news/article/local/central/535093.html>

◆「マンホールカード」人気 北見市が無料配布 市外から希望 9 割 <9/5 北海道新聞>

<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/225080>

◆津山市が市街地の浸水対策前倒し 豪雨受け強制排水ゲート整備方針 <9/6 山陽新聞>

<http://www.sanyonews.jp/article/783674/1/>

◆ホテルが舞う川に 行橋 RC、舟路川で新事業 10 月下旬 清掃、幼虫放流へ [福岡

県] <9/7 西日本新聞>

https://www.nishinippon.co.jp/np/f_kitakyushu_keichiku/article/447574/

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町 3 番 1 号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter/20180419/index.html>
